エコー検査は、皮膚、皮下脂肪、血管やリンパ管を、その場でリアルタイムに観察できるツールである。近年は装置の小型化・高性能化が進み、医師や臨床検査技師だけでなく、看護師やセラピストにとっても身近なものになりつつある。しかも、造影剤などの薬剤も必要なく、放射線被爆もなく、ベッドサイドで簡便かつ低侵襲に実施できる検査である。一方で、特にエコー検査に接したことがないと、画像の見方が分からない、プローブをどこに当てればよいか分からないなど、難しい印象を持つ方も多いのではないだろうか。

このハンズオンセミナーでは、エコーに慣れていない方を対象に、プローブの持ち方や動かし方、画面の向きなどの基本から実践的に紹介する。下肢の皮膚・皮下組織・筋膜を観察し、さらに下肢の代表的な表在静脈である大伏在静脈を探してみる。プローブを少し動かすだけで画像が変化し、押すと静脈がつぶれる様子を自分の手で確かめることで、足の中の立体的な構造を実感できるであろう。

まずは「エコーを当てると、足の中がこんなふうに見える」という面白さを体験し、むくみや皮下組織、血管を考える際の新たな視点を得ていただきたい。フットケアの観察を、見る・触れるだけでなく、その一歩先へ進めてみたい。